

## 厳選良問

～ 目標的なものは達成可能なものの(簡単そうなもの)から選択！～

分野	法律系分野	出典	ケアマネ試験(第21回-問題2)
----	-------	----	------------------

=====問題=====

**問題** 認知症施策推進総合戦略(新オレンジプラン)の7つの柱として正しいものはどれか。3つ選べ。

- 1 若年性認知症施策の強化
- 2 認知症の人の介護者への支援
- 3 認知症の発症割合の低減
- 4 高度認知症の人への集中的支援
- 5 認知症の人を含む高齢者にやさしい地域づくりの推進

=====ポイント&解答=====

### 資格別試験対策

社会福祉士	精神保健福祉士	介護福祉士	介護支援専門員	保育士
★★★	★★★	★★★	★★	★

(注) ★★★…必ず学習!! ★★…できれば学習! ★…余裕があれば確認 ×…学習しなくてOK

### 試験対策ポイント解説

新オレンジプランは、2017年に改正され、数値目標等が新設・変更されました。数値目標の期間は2020年までとなっていますので、その間の試験では、たびたび出題される内容となるでしょう。新オレンジプランは、法律と同様、全体的な内容(一般論)に対して定めるもので、個別的な内容にはなかなか踏み込みません。また、国にもメンツがあるので、「すべて達成できませんでした」というような目標は掲げません。なので、正解が全く分からない場合には、達成可能なものの(簡単そうなもの)から選択すると良いでしょう。

そうすれば選択肢3は、認知症予防のワクチンが完成していなければ掲げられない目標なので「×」と判断できます。そして、法律上明確になっていない「高度認知症」に対してのみ、集中的に支援を行うというのも、現実的ではない(不公平)といえますし、選択肢5と対比すると、「高度認知症のみ」と「高齢者全体」という対象が正反対な内容なので、少なくともどちらかが「×」と判断できてしまいます。

※参考までに7つの柱を掲載します※

- ①認知症への理解を深めるための普及・啓発の推進
- ②認知症の容態に応じた適時・適切な医療・介護等の提供
- ③若年性認知症施策の強化
- ④認知症の人の介護者への支援
- ⑤認知症の人を含む高齢者にやさしい地域づくりの推進
- ⑥認知症の予防法、診断法、治療法、リハビリテーションモデル、介護モデル等の研究開発及びその成果の普及の推進
- ⑦認知症の人やその家族の視点の重視

解答

1, 2, 5

